



「旧吉田家住宅主屋」完成記念講演会

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

日本遺産「みちのくGOLD浪漫」認定記念シンポジウム

市教育委員会では、東日本大震災津波により全壊した旧吉田家住宅主屋の復旧が完了したことに加え、日本遺産「みちのくGOLD浪漫」の構成文化財として追加認定されたことを記念して、講演会とシンポジウムを開催します。

本イベントでは、14年にもおよぶ復旧事業の集大成の報告と未来を見据えた活用のあり方について、文化財の専門家の視点からわかりやすくお話しします。

日時：10月11日(土) 午後1時～3時30分 (開場：午後0時30分)

会場：市コミュニティホール

内容：第1部 講演

演題 「旧吉田家住宅主屋の復旧への道のりと将来的展望」

講師 建築装飾技術史研究所 所長 窪寺茂氏

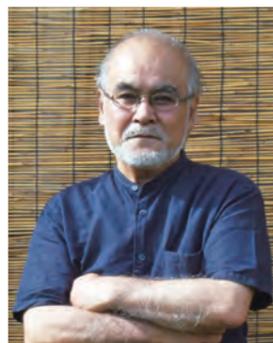
第2部 パネルディスカッション ～花咲け“みちのくGOLD”浪漫～

コーディネーター 涌谷町教育委員会生涯学習課長 福山宗志氏

パネリスト 窪寺茂氏

平泉文化遺産センター 参与 千葉信胤氏

陸前高田市立博物館 前館長 松坂泰盛氏



窪寺茂氏

入場料：無料

申し込み：不要

問い合わせ先 市教育委員会教育総務課文化財係(内線555)

文化財ニュース

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに SDGs GOAL 11 住み続けられるまちづくりを

「華蔵寺の宝珠マツ」宝珠化への道②

小友町の華蔵寺にある「華蔵寺の宝珠マツ」が、宝珠化の兆しを見せています。

マツは、一般的に春にのびる新しい枝の先端に雌花、根元に雄花が付きまします。しかし、華蔵寺のマツは新しい枝の根元に密集して雌花がつくことが大きな特徴です。これらの雌花が受粉し成長すると、枝の根元が仏教における宝珠のように見えることから宝珠マツと呼ばれています。

昨年までは、枝の根元に2、3個の雌花しかつきませんでした。今年は3カ所の枝にそれぞれ100個以上の雌花が密集してついています。

春に咲いた赤い雌花は、現在、緑色のマツボックリに成長しており、秋にかけて徐々に茶色く変化していきます。

順調に成長すれば、来年の秋頃にはマツボックリが根本に密集した宝珠マツとなることが期待されます。



春に咲いた雌花



現在の球果(8/14撮影)

問い合わせ先 市教育委員会教育総務課文化財係(内線556)



地域活動充実のため

令和8年度 コミュニティ助成事業を募集します

SDGs GOAL 17 パートナリシップで目標を達成しよう

市では、地域のコミュニティ活動の充実と強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に貢献するために自治総合センターが実施する「宝くじの社会貢献広報事業(コミュニティ助成事業)」を募集します。

募集事業：以下のとおり 助成対象：コミュニティ組織や自主防災組織など

申込期限：9月26日(金) (自主防災組織育成助成事業は10月9日(木)、地域の芸術環境づくり助成事業は10月24日(金)、地域国際化推進助成事業は10月17日(金))

Table with 4 columns: 事業名, 助成額, 助成対象事業(施設・設備などの例), 担当課(内線). Rows include general community support, disaster prevention, fire safety, youth, and internationalization projects.